

S クリートカラー
S クリートカラー艶有タイプ

施工要領書

BIRCS

株式会社バークス環境

概 要

Sクリートカラー及びSクリートカラー艶有タイプは高分子無機質シリコン（シロキサン）を主成分としたコンクリート打ち放し向けの半透明調色材です。耐候性・退色性・施工性に優れ、コンクリート打ち放しの風合いを損ねず、コンクリートの劣化による変色や補修跡などを自然な風合いで色調整できます。

特 長

- 1、 水性無機質塗料ですので、臭気が無く安全です。
- 2、 超速乾性です。1～2時間で乾燥します（20℃）。
- 3、 Sクリートアップ（コンクリート改質・強化剤）とSクリートガード（浸透性撥水剤）とを併用することで、より強固にコンクリートを保護できます。
- 4、 樹脂系（有機質）のコンクリート調色材ですと、Sクリートガードの撥水力が発現できませんが、SクリートカラーはSクリートガードと同素材で形成されている為、Sクリートガードの撥水力はそのまま発現できます。
- 5、 シロキサン成分で形成されている為、浸透性に優れ、コンクリートを長期間保護できます。
- 6、 色は標準的なコンクリート色になっていますが、別売りで白・黒・黄色の顔料（500g）にて調色できます。

Sクリートカラー艶有タイプの特長

Sクリートカラー艶有タイプは従来品Sクリートカラーの特長に下記の2つの性能がプラスされました。施工要領は従来品Sクリートカラーと同じですので、併用になります。

- 1、 従来品Sクリートカラーは艶消しタイプですが、艶有タイプは自然な3分艶程度にしていますので、打ち放しコンクリートにより近い風合いになります。
- 2、 シラン・シロキサン成分を増量していますので、撥水、防水効果が大きく向上しました。よって、Sクリートガード（含浸防水剤）を塗布する必要がありません。

施工可能な素地

コンクリート・モルタル・レンガ等

施工前確認事項

- 1、 下地の汚れ、カビ、レイトランスは高圧洗浄等にて除去してください。酸洗いをした場合は必ずアルカリ中和処理をしてください。アルカリ中和処理は弊社にて、S Cクリーナーをご用意しております。
- 2、 雨天時の施工は避けてください。施工可能な気温は5度以上です。
- 3、 クラック・ジャンカ・爆裂などは事前に補修してください。クラックや表層劣化は弊社Sクリートクラック工法にて補修することをお勧めします。

施工用具

ローラー（短毛ウーローラー）・刷毛・固めのスポンジ・フェルト材・バケツ・高速攪拌機
計量器等

施 工

1、養生

ガラス、アルミサッシ、金属、その他一般的な養生をしてください。

2、下地処理

- ・カビ、藻、レイトランス等は高圧洗浄してください。
- ・クラックはSクリートクラック工法（別紙仕様書参照）にて補修してください。
- ・爆裂補修はペガサビン（浸透性防錆材）を使用し、セルガード工法（別紙仕様書参照）にて補修してください。

3、調合

標準調合はSクリートカラー8Lを良く攪拌してから、清水8Lを混入し、高速攪拌機にて再度十分に（2分以上）攪拌してください。色調整する場合は別途液体無機顔料（白・黒・黄色）を少しずつ加えていき調色してください。

4、本施工（塗布）

- ・短毛のウーローラーにて調合した材料を全面に均一に1～2回塗布します。
下地の変色が小さい場合は1回塗りで納めます。1回塗りで隠ぺいできない場合は追っかけで、2回目を塗布してください。速乾性ですので、追っかけで塗布できます。

標準塗布量：150～200 cc / m² 80～100 m² / 缶

- ・補修箇所等は、2回塗りで納めてください。
- ・ボカシを入れる場合は、全面に標準色（グレー色、日塗工 N-80 程度）を 1～2 回塗布した後、別途液体黒顔料を少量ずつ加えていき、濃い目のグレー色（日塗工 N-75 程度）に調色し、フェルト材か固めのスポンジ等で、ランダムにはたき塗りしてボカしてください。逆パターン（濃い目のグレーを先に塗布してから、標準色グレーではたき塗りする）ことも可能です。

はたき塗り塗布量：100～120 c c / m²

- ・部分的に塗布する場合は、既存のコンクリート色にあわせて調色します。発色は乾燥後でないと確認できませんので、事前にテスト塗りをして下さい。本材料は速乾性ですので、30～60 分で乾燥します。

S クリートカラーは標準的な薄めのコンクリート色に調合されていますので、通常はそのまま使用可能です。

5、オプション施工（S クリートリストア工法）

① S クリートアップ

- ・新築の場合はクラック防止・防水性向上・S クリートカラーの接着力向上に有効です。
- ・改修の場合はコンクリートのアルカリ改質・強度再発現・防水性向上などに有効です。
- ・S クリートアップはS クリートカラーの施工前に塗布します。塗布量：200 c c / m²

② S クリートクラック工法

- ・クラックをUカットせず目立たなく補修できます。（注入工法）
- ・表層劣化がありザラザラになっている箇所や、ヘアークラックの補修ができます。（表面被覆工法）

③ ペガサビン・セルガード工法

- ・コンクリートの鉄筋の錆が懸念される場合は、コンクリート表層からペガサビンを塗布することで、防錆処理が可能です。塗布量：300～400 c c / m²（2回塗布）
- ・爆裂補修の際もペガサビン・セルガード工法（モルタル混入工法）が有効です。

④ S クリートガード

- ・S クリートカラー施工後に塗布することにより、防水・防汚・防カビ・保護効果が大きく向上します。塗布量：120～150 c c / m²（2回塗布）

6、注意事項

- S クリートガードを塗布する際、垂れ跡が残る場合がありますので、垂が無いように薄く2回塗布してください。もし垂れ跡が発生しましたら、その部位に再度 S クリートカラーをはたき塗りして調整してください。
- S クリートカラーはコンクリートの風合いを自然に残すため、極力粘性を低くして透過性を出しています。そのため、缶底に沈殿物が溜まる場合がありますので、高速攪拌機にて良く攪拌（2分以上）してください。沈殿物があっても製品の性能は全く問題ありません。